

こどもエコクラブサポーターズミーティング 「SDGsを知っていますか？」を開催しました！！ ～こどもたちと自然体験・環境活動を続けていくために～

日 時：2020年1月12日(土) 13:00 ～ 16:00

会 場：岩手県アイーナ6階 団体活動室3

事例発表者1：濱塚 有史さん(特定非営利活動法人盛岡YMCA 総主事)

事例発表者2：黍原 豊さん(一般社団法人三陸駒舎 協働創設者・理事)

カードゲーム2030SDGs 丸尾 美由紀さん(2030SDGs公認ファシリテーター)

* * * * *

37名の参加者が集い、こどもエコクラブサポーターズミーティングを行いました。2つの事例発表の後にSDGs(持続可能な開発目標)って何?を知るために、カードゲーム2030SDGsを体験しました。

★事例発表1「出会いと気づき」

盛岡YMCAの濱塚さんは、YMCAの理念にもとづき東日本大震災後の宮古を愛するこどもたち育成事業の取り組みや、地球と遊ぶ、サマーキャンプ、スキーキャンプを通してこどもたちとの活動の様子と、リーダートレーニングについての活動の様子を詳しく紹介されました。



事例発表1の様子

★事例発表2「馬と民家で暮らし、馬から生きる力を学ぶ」



事例発表2の様子

三陸駒舎の黍原豊さんは、感覚統合理論をもとにしたホースセラピーについて、こどもたちが馬と過ごすことで色々な感覚を感じとるなどの経験を通して、脳が色々な感覚を整理したり、まとめたりする機能を高めて周りの状況に応じた行動が取れるようになることについて、実際に馬とこどもたちが触れ合う様子を発表されました。

感覚統合：五感を始め固有受容覚(筋肉を動かす感覚)や前庭覚(揺れを感じる感覚)も含めた複数の感覚情報をまとめたりする脳の機能のこと。

★カードゲーム2030SDGs (2030SDGs公認ファシリテーター 丸尾美由紀)記

SDGsの達成を目指して、2030年がどうなるかを体験するカードゲーム「2030SDGs」を12組36名の方と行いました。カードに書かれたプロジェクトを実行して2030年のゴールを目指します。結果、経済は絶好調、環境・社会も今よりずっとよくなっている2030年の世界が現れました！ゲームの前半では、各チームのゴールを達成することだけになりがちでしたが、後半は他のチームとの連携が進み、世界の状況を見て考え、行動する方が増えたことが結果につながったように思います。

今回の体験を、未来をどうしたいか、そして未来を担うこどもたちのための「こどもエコクラブ」でどんな支援をしたらよいか、を考える機会としていただけると嬉しいです。



カードゲーム2030SDGsの様子

★意見交換会

事例発表とカードゲーム2030SDGsを通して沢山の意見と感想をいただきました。

- 参加者に学生さんが多くて良かった。
- YMCAの取り組み内容をよく知ることができたので良かった。
- YMCAに参加したいと感じた。
- 感覚統合という新しいことばを教わった。
- 馬は岩手と繋がりが深い。こういった活動があることを知れて良かった。
- 年代・職業の違う方々の意見を聞いて良かった。
- 思っていたよりも、色々な価値感を持っている人達が身近にいると気付けた。